

WG 活動紹介(I)

核データニュース編集委員会

日本原子力研究開発機構

中川 庸雄

nakagawa.tsuneo@jaea.go.jp

前回、本誌『核データニュース』の編集委員会を紹介したのは、本誌 76 号（2003 年 10 月）でした。それから 5 年が経過し、今回は 92 号です。この間、年 3 回のペースで予定通りの発行ができたことは喜ばしい限りです。

『核データニュース』は、日本原子力学会のシグマ特別専門委員会と日本原子力研究所（原研）のシグマ研究委員会が、国内の核データ関係者の情報交換を目指して、1966 年に発行をはじめたもので、すでに 40 年を超える歴史があります。発行当初の本誌は『JNDC ニュース』と呼んでいました。JNDC はシグマ委員会（Japanese Nuclear Data Committee）のことです。それが、1976 年に、原研の「核データ研究室」が「原子核データ室」と改称し、大蔵省の認可組織となったのを期に、『核データニュース』と改称されました。『核データニュース』になってから本号で 92 号、『JNDC ニュース』から数えて通巻 128 号となりました。

現在の編集委員会のメンバーは、次の 8 名です。

中川庸雄（委員長、原子力機構）、井頭政之（東工大）、石川 眞（原子力機構）、岩本 修（原子力機構）、山野直樹（東工大）、吉田 正（武蔵工大）、渡辺幸信（九大）、[オブザーバ] 喜多尾憲助

前回の紹介後、石川委員と渡辺委員が新たに加わり、長谷川明委員が編集委員を辞められました。

最近の 5 年間で最も大きな状況の変化は、2005 年 10 月に日本原子力研究所と核燃料サイクル開発機構が統合し、独立行政法人日本原子力研究開発機構が誕生したことでしょう。このため、原研の下にあった従来の「シグマ研究委員会」は解散し、新た

に「シグマ委員会」が発足しました。本誌も、日本原子力学会シグマ特別専門委員会と日本原子力研究開発機構シグマ委員会の共同編集ということになりました。さらに、諸般の事情からシグマ委員会会合開催のための予算が不十分となり、『核データニュース』もその影響を受けました。それまでは年3回の発行に合わせて編集委員会を開いて内容を検討していましたが、これを止めて、編集委員間のメール交換で相談し、掲載する記事を決めることにしました。これにより、以前は東海や東京に職場がある委員で構成していた編集委員会ですが、旅費を考慮しなくて良くなったので、国内の広い地域から編集委員を募ることが可能になりました。次に、印刷費が無くなったので、従来の紙に印刷して配布する形態の発行を止め、No.82(2005年10月)からはインターネット上で発行することにしました。印刷物が無いので物足りない気分ですが、時代の流れでやむを得ないことです。そのせいか、インターネット版になってからは、ページ数が減少しています。No.72~81の平均ページ数が124ページであるのに対し、インターネット版になってからのNo.82~91の平均は74ページです。原稿の長さが減り、記事の数も減っています。

インターネット上には、最近のものだけではなく、『JNDC ニュース』No.1から全ての記事にアクセス可能です。インターネットで見えることにより、より多くの方々の目にとまるようになったことは確かです。例えば、昨年12月のアクセス数をみると、『核データニュース』全体で9万回ものアクセスがありました。最近の号の各記事へのアクセス数合計(目次へのアクセスを除いたもの)は、No.91が762回、No.90が1425回、No.89が1009回でした。このようなアクセス数は、『JNDC ニュース』No.1からずっと、ほぼ同程度になっています。検索エンジンのための情報収集ロボットがアクセス回数を増やしていることは事実ですが、真に中身を見るためのアクセスもあるはずで、昨年12月1か月で、アクセス数が最も多かった記事3件は次の通りです。

順位	アクセス数	号数	タイトル、著者
1	495	76	「量子ポテンシャル理論と確率力学」(東工大) 大崎敏郎
2	294	87	International Conference on Nuclear Data for Science and Technology (ND2007) 出席報告の中の「(2) 理論・断面積計算手法に関する報告」(九大) 渡辺幸信、(原子力機構) 国枝賢、千葉敏
3	236	91	「J-PARC MLF 中性子源と核データ測定計画」(北大) 鬼柳善明、(原子力機構) 前川藤夫

インターネットの最大の欠点は、情報のアドレスを表す URL(Universal Resource

Locator)がサーバーの事情で替わってしまうことだと思います。現在の『核データニュース』のホームページはhttp://www.ndc.jaea.go.jp/JNDC/ND-news/index_J.htmlですが、古い URL でリンクをしているホームページをときどき見かけます。それを正しくしていただくと、もっとアクセス数が増えることであろうと残念に思っています。

『核データニュース』のホームページは、国立国会図書館が行っている電子図書館事業の一つ「国立国会図書館データベース・ナビゲーション・サービス Dnavi (<http://dnavi.ndl.go.jp/>)」からもリンクが張れています。

『核データニュース』の中身について触れます。本誌は「会議のトピックス」「話題・解説」「読者の広場」「シグマ委員会だより」「核データ評価研究グループだより」「テクニカル・コメント」に分けて編集しています。「会議のトピックス」は、特筆すべき国際会議や日本原子力学会で開かれる核データ関連の企画セッションなどを出席者や発表者にまとめていただくものです。「話題・解説」の記事は、おもしろそうなテーマで専門家に解説的な原稿を書いてもらっています。「読者の広場」には、研究室紹介や随筆のような記事を載せています。「シグマ委員会だより」と「核データ評価研究グループだより」は名前の通り、委員会会合の議事録や活動状況の報告、核データ関連文献の情報などです。「テクニカル・コメント」は減多に掲載しませんが、核データ関連事項で、広く知ってもらいたい知見などの投稿があれば掲載します。その他に、核データ関連会合の予告などを毎号載せています。

多くの原稿は、編集委員会が企画し、依頼して執筆してもらったものですが、投稿原稿も歓迎します。次の URL の文書を参考にして、投稿して下さるようお願いいたします。

<http://www.ndc.jaea.go.jp/JNDC/ND-news/submit.html>

また、原稿の提案も大歓迎です。編集委員にご連絡いただければ、大変ありがたく思います。

(2009年1月14日)